

ウズベキスタン、キルギス、カザフスタンで現代日本講演会 「蘇りつつある2011年大震災後の日本—アジアにおけるその役割」 10/8 タシケント、10/10 ビシュケク、10/11 アスタナ

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、河東哲夫氏(Japan-World Trends 代表、元駐ウズベキスタン日本大使)を講師に、世界における日本の位置づけや、日本社会の変革についての講演「蘇りつつある2011年大震災後の日本—アジアにおけるその役割」を、ウズベキスタン(10月8日)、キルギス(10月10日)、カザフスタン(10月11日)でそれぞれ開催いたします。

中央アジア諸国では、日本とつながるチャンネルや日本に関する情報がまだ多いとは言えませんが、現代日本に対する関心の高まりに応えるべく、大学生・大学院生を中心とした若い世代と意見交換を行います。

■ウズベキスタン(タシケント)

日時:2013年10月8日(火)15:30
会場:国際ビジネスセンター9階 コーカンド・ホール

■キルギス(ビシュケク)

日時:2013年10月10日(木)14:00
会場:キルギス外交アカデミー大講堂

■カザフスタン(アスタナ)

日時:2013年10月11日(金)15:00
会場:ユーラシア大学 228 講堂



撮影:高木あつ子

河東哲夫(かわとう あきお)

Japan-World Trends 代表として、日、英、中、露語によるオピニオン・ブログを運営する傍ら、欧米やロシアでの赴任経験を生かして、国際問題を中心とした評論・講演を行う。元駐ウズベキスタン日本大使であり、中央アジア情勢をウォッチし続けている。



写真はウズベキスタンの市場の様子
ウズベキスタン、キルギス、カザフスタンとは、昨年、日本との外交関係20周年を向かえ、様々な記念事業が実施されました。今後、さらなる関係深化、発展が期待されています。

お問い合わせ:

日本研究・知的交流部 欧州・中東・アフリカチーム
担当:高口 電話:03-5369-6071